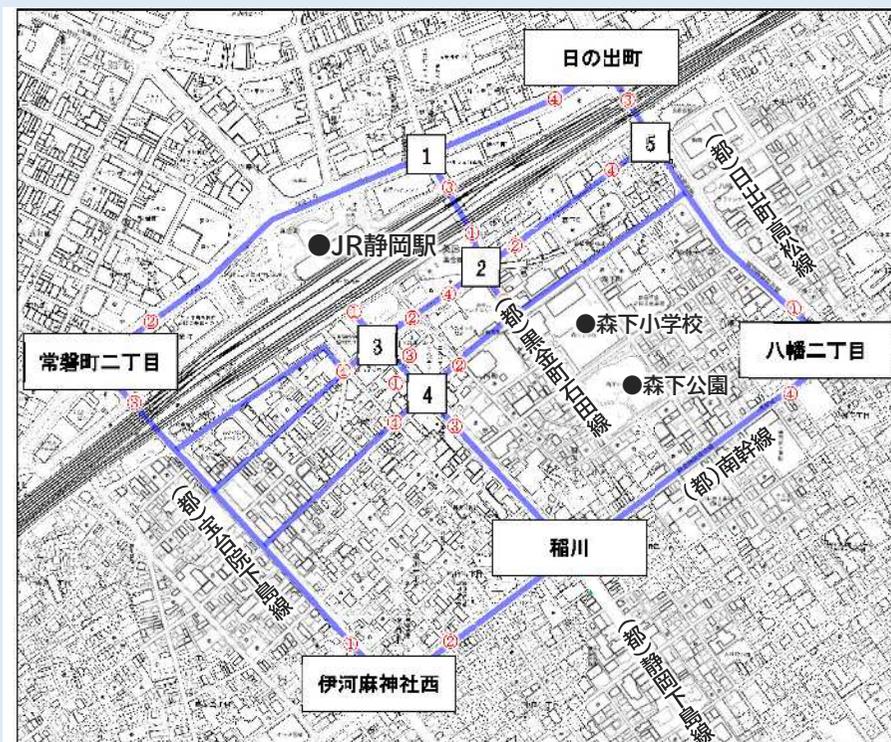


■交通シミュレーションについて

(1) 設定条件

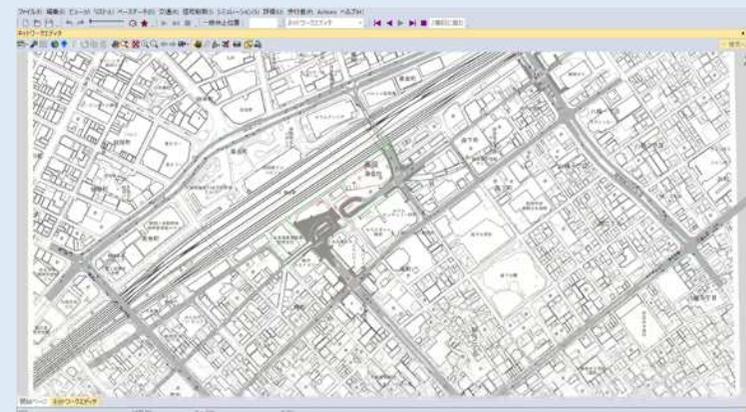
- ・ 広場再整備に伴う南口及びその周辺交差点の混雑状況を検証する。
- ・ 検証範囲は右図の青色でネットワークを組んだエリアとする。
- ・ 交通量がピークとなる18:00~19:00の1時間でシミュレーションを行う。
- ・ 一般車は道路交通センサスのOD調査による交通台数とする。
- ・ 令和3年度交差点交通量調査結果から、タクシーの交通台数を設定する。
- ・ 現在のバス時刻表からバスの交通台数を設定する。
- ・ 令和3年度交差点交通量調査結果を基に歩行者の通行量を設定する。
- ・ 実際の信号現示データを設定する。



シミュレーション実施エリア

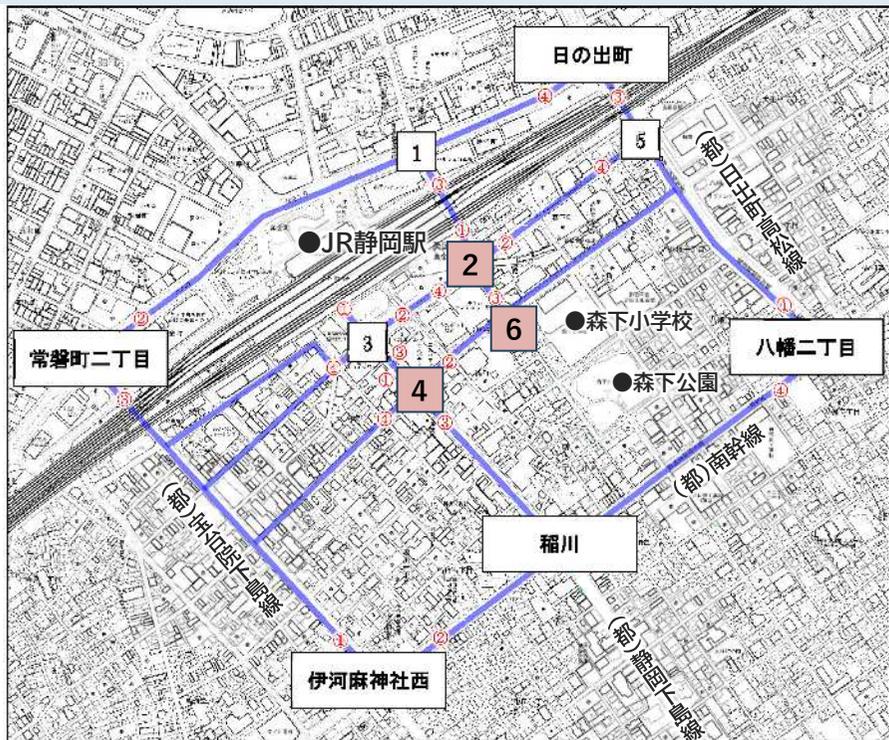
(2) 現況と将来計画との比較

- ・ 交通シミュレーションにより、現況と、前面道路を取り込み、東側に公共、西側に一般車とした将来計画を比較した。
- ・ 周辺交差点の信号待ちの車列の長さ（滞留長）について、現況と将来計画とでは同等であることを確認した。※次頁参照
- ・ 現況と比べ将来計画のほうが駅前広場周辺交通量が約16%減少した。



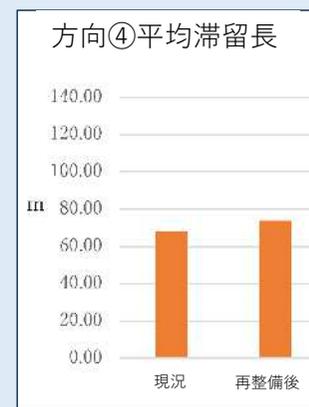
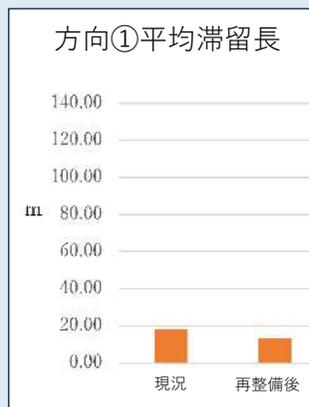
(3) 混雑度の検証

- 2 黒金町交差点 4 南町交差点 6 森下小西交差点について、交差点の信号待ちの車列の長さ（滞留長）について、現況と再整備後を比較した。



シミュレーション実施エリア

●森下小西交差点の例



今後の検討

- 新しいロータリー形状になると、公共交通と一般車が進入路から分離されるため、**利用者が混乱しないような対策**が求められる。
- 周辺の交通渋滞をより改善するため、警察と協議をしながら、検討を進める。
- 森下小学校周辺の安全対策**について、地元及び小学校と協議をしながら検討を進める。
- 駅周辺への通過車両の更なる削減方を検討する。